



2021年12月15日

各 位

会 社 名 株式会社 駒井ハルテック
代 表 者 名 取締役社長 中村 貴任
(コード番号 5915 東証第1部)
問 合 せ 先 執行役員
管理本部長 飯塚 勉
(TEL. 03-3833-5101)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、2021年11月12日にプライム市場を選択する申請書を提出しました。当社は、移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準のうち「流通株式時価総額」が上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており「流通株式時価総額」については基準を充たしておりません。当社は、「流通株式時価総額」に関しては、2023年度を初年度とする次期中期経営計画の最終年度末となる2026年3月までに、上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)	1日平均 売買代金 (億円)	時価総額 (億円)
当社の状況 (移行基準日時点)	3,722	24,964	47.4	50.2	0.5	—
上場維持基準	800以上	20,000以上	100以上	35以上	0.2以上	—
計画書に 記載の項目	—	—	○	—	—	—

※当社の適合状況は、株式会社東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

プライム市場の上場維持基準充足に向け、当社は「高い技術力で夢のある社会づくりに貢献する」の経営理念をモットーに企業価値の向上に取り組んでまいります。具体的な取組の基本方針、課題及び取組内容については、添付の「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」に記載のとおりです。

以 上

夢を架け
空間を創る

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

2021年12月15日

 株式会社 駒井ハルテック

目次

1. 上場維持基準の適合状況 及び 計画期間
2. 基本方針
3. 現状の課題
4. 具体的な取組み内容
 - 環境事業の成長加速
 - 既存コア事業の技術力向上
 - カーボンニュートラル社会の実現に向けた取組み
 - マーケット認知の向上
 - 株主還元
 - 事業ポートフォリオと業績目標

1. 上場維持基準の適合状況 及び 計画期間

【上場維持基準の適合状況】

当社の移行基準日（2021年6月30日）におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、「流通株式時価総額」について基準を充たしておりません。

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)	1日平均 売買代金 (億円)
上場維持基準 (プライム市場)	800 以上	20,000 以上	100 以上	35 以上	0.2 以上
東証からの 一次判定結果	3,722	24,964	47.4	50.2	0.5
判 定	○	○	×	○	○

【計画期間】

上場維持基準を充たすための計画期間を2023年度を初年度とする次期中期経営計画の最終年度末である2026年3月までとし、各種取組を進めてまいります。

2. 基本方針

当社がプライム市場の上場維持基準を充足していない「流通株式時価総額」の構成要素は、「時価総額」及び「**流通株式比率**」となります。

2つの構成要素に対し、下記の基本方針を定め具体的施策に取り組んでまいります。

時価総額	【企業価値の向上】 カーボンニュートラルへの挑戦を通じて 企業価値を高める
流通株式比率	【流通株式数の増強】 発信力強化によるマーケット認知を通じて 株式の流動性を高める

- ▶ 時価総額を高めるためには企業価値の向上が不可欠であり、カーボンニュートラルへの挑戦などの施策を次期中期経営計画としてまとめ、この計画を達成することで企業価値の向上を目指してまいります。
- ▶ 鋼構造事業（橋梁・鉄骨）、環境事業（再生可能エネルギー）において、当社の技術力は高い評価を得ており、この技術力をさらに高めることで持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。
- ▶ IR活動を強化し、より積極的な情報発信に取り組むことで社会インフラ整備の一翼を担う企業としてのマーケット認知の向上を図り、株式の流動性を高めてまいります。

3. 現状の課題

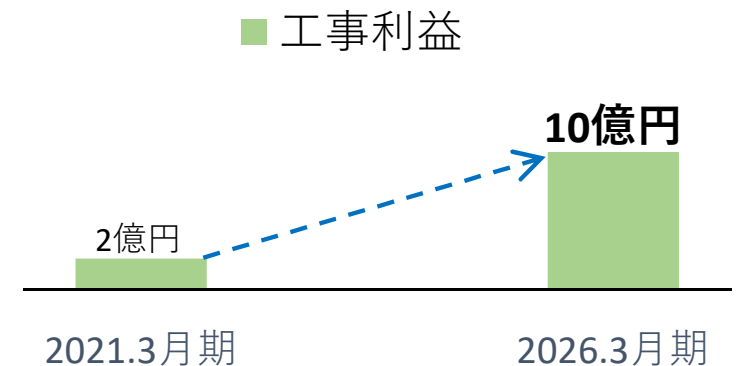
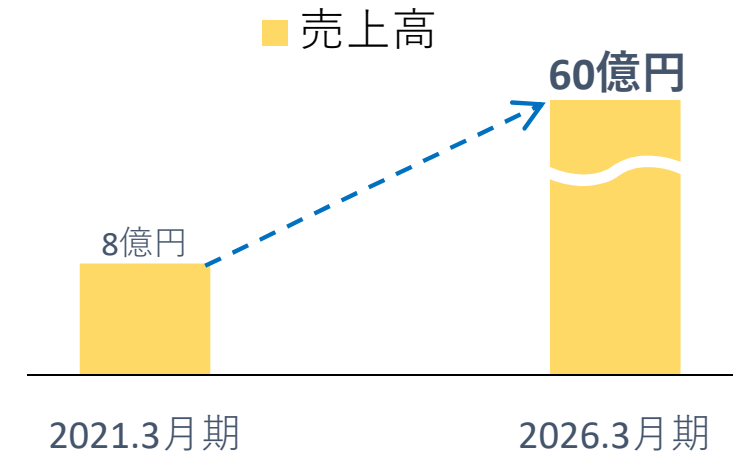
基本方針に対する課題は以下のとおりです。

基本方針	課題	取組み方針
企業価値の向上	環境事業の成長加速	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 風車事業への積極的な経営資源投下 ▶ 生産拠点の整備拡充
	既存コア事業の技術力向上	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 高付加価値案件の取込み ▶ DXによる工場改革の推進及び収益力強化
	カーボンニュートラル社会の実現に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 再生可能エネルギー電力量の増加 ▶ 工場消費電力の削減
流通株式数の増強	マーケット認知の向上	<ul style="list-style-type: none"> ▶ IRと株主対話の強化 ▶ 情報発信力の強化

4. 具体的な取組み内容

■環境事業の成長加速

- ▶ カーボンニュートラル社会の実現に向け、再生可能エネルギーに対する期待が高まっています。
- ▶ 当社は国内唯一の中型風車メーカーとして、風況調査や基本設計から遠隔監視等のメンテナンスまでトータルの実績があり、国内外の市場に適したカスタマイズにも精通しています。
- ▶ これらの実績と技術を活かし、風車事業へ経営資源を積極的に投下してまいります。
- ▶ 陸上風車のラインアップ充実を図り、リプレイス市場開拓を進めてまいります。
- ▶ 洋上風車関連事業への参画に向けプロジェクトチームを設置し生産拠点の整備拡充を行ってまいります。



4. 具体的な取組み内容

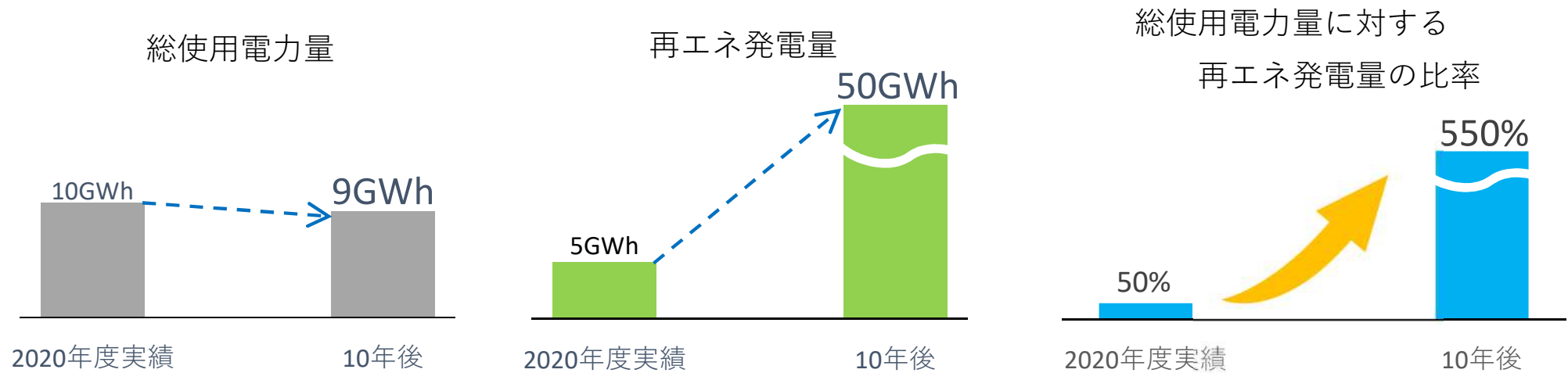
■ 既存コア事業の技術力向上

- ▶ 鉄骨市場は、新型コロナウイルスの感染拡大等により延期された首都圏を中心とする大型再開発事業やリニア中央新幹線関連事業が徐々に着工されるなど、追い風となっています。
- ▶ 首都圏再開発事業を始めとして、300mを超える超高層ビルや駅舎再開発による鉄道の高架化など、空間を立体的に支える特殊鋼材の加工・溶接技術に更に挑戦してまいります。
- ▶ 橋梁事業は、生産設備の増強と設計・施工技術の向上を図り、大阪湾岸道路西伸部や高速道路4車線化など大型プロジェクトへの参画を目指してまいります。また、異業種を含めた連携により技術力の幅を広げ、大規模更新事業を始めとした社会インフラの保全補修事業にも取り組んでまいります。
- ▶ D XやA Iを駆使して製造プロセスの最適化を実現し、環境負荷低減と収益力向上の両立を目指します。
- ▶ R P Aの活用などにより業務改革を進め、様々な創造的業務を通じて従業員のスキルアップを図り、働きがいのある多様性に富んだ企業を目指し働き方改革を推進してまいります。

4. 具体的な取組み内容

■カーボンニュートラル社会の実現に向けた取組み

- ▶ 当社の富津工場は、鉄構事務棟への太陽光パネルの設置や、自社開発の300kW風車を2基設置し、得られる電気は鉄骨及び橋梁の生産工程で使用しています。今後は工場建屋の屋根に太陽光パネルの設置を進めて発電量を増やし、全社でLED照明の採用やクールビズの導入等、生産活動における温室効果ガスの排出抑制に取り組んでまいります。
- ▶ 風車仕様を增強し国内外での風車建設を推し進め、再生可能エネルギー電力量の増加を通じてカーボンニュートラル社会の実現を目指します。



※総使用電力量とは、当社グループ全体の使用電力量

※再エネ発電量とは、当社が建設した風車、太陽光パネルによる発電量

4. 具体的な取組み内容

■マーケット認知の向上

持続的な成長と中長期的な企業価値の向上において、コーポレートガバナンスの更なる充を図ることが重要と認識しています。

- ▶ IRの体制強化
- ▶ 各種説明会イベント等を通じたステークホルダーとの対話機会の設定
- ▶ ホームページリニューアルによる情報発信

■株主還元

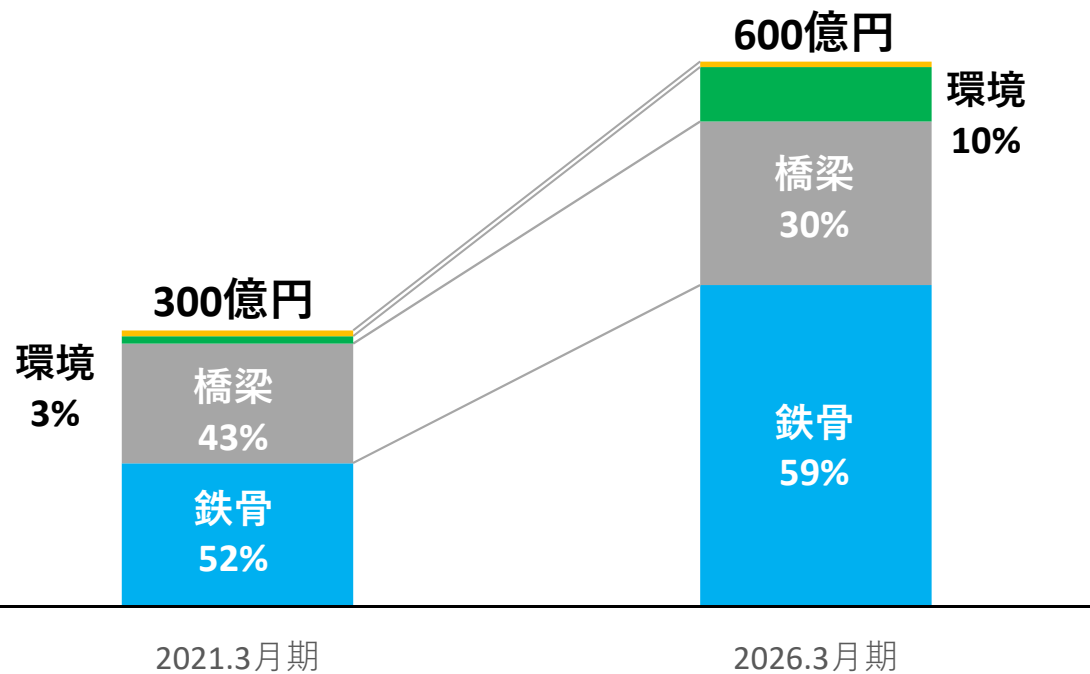
競争力向上や事業領域拡大への積極投資を加速させていくことと合わせて、安定配当を目指していくことにより、株主の皆様のご期待に応えてまいります。

4. 具体的な取組み内容

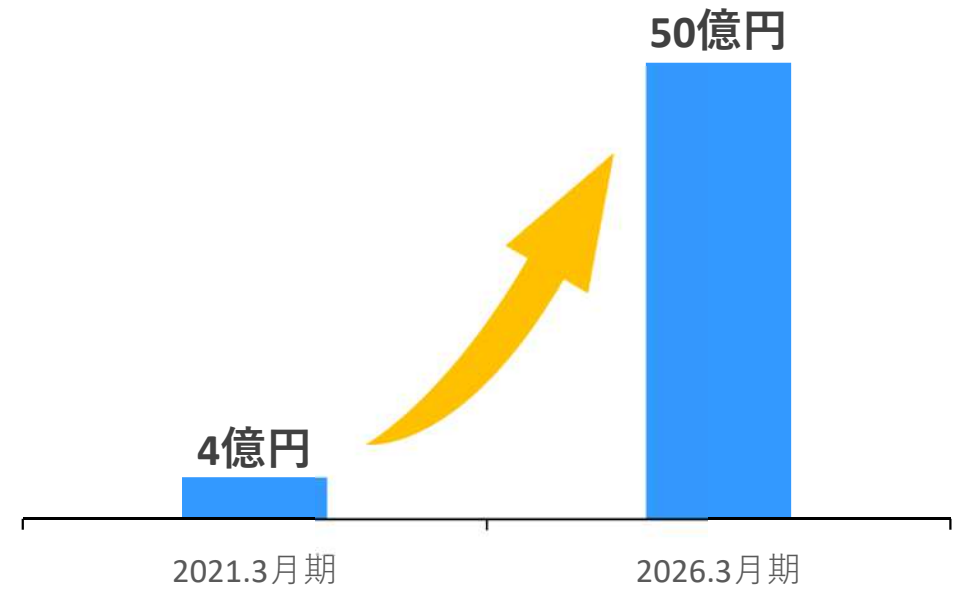
■事業ポートフォリオと業績目標

コア事業である鉄骨・橋梁事業の安定的な成長に加えて環境事業の成長を加速させ、業績全体の拡大を目指します。

売上高（連結）



営業利益（連結）



免責事項

- ▶ 本資料に記載されている将来の業績に関する予想・見通し等については、現在入手可能な情報による判断及び当社の計画・戦略等に基づき作成しています。
- ▶ 今後の事業運営や経営環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は大きく異なる結果となる可能性のあることをご承知おき下さい。
- ▶ よって、掲載された将来の計画数値、施策の実現を保証するものではありません。